

2026年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

( 冬期・一般選抜 ) 問題

筆記試験 日本語教育学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2026年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目 (日本語教育学 専攻分野)

I. 次の1)～5)の各項について知るところを述べよ。

1) 移民

2) 間接発話行為

3) アップテイク

4) TBLT

5) 日本語のアスペクト

II. あなたの考える「コミュニケーション能力」とは何か、理論的な背景を踏まえて考えを述べよ。

その上で、それは自身の日本語教育実践においてどのように実現されているのか、あるいはされていないのか、具体的に考えを述べよ。



---

IV. 次ページから始まる英文を読み, 以下の質問に日本語で答えよ。

1) 話すことを教える教師にとって Authenticity についてどのようなことが問題になるのか, 本文に即して説明せよ。

2) Roberts and Cooke (2009)の研究では, どのような答えが示されていると本文では述べられているか説明せよ。

また, それを踏まえ日本語教育における教材について考えるところを述べよ。

受験記号番号	
--------	--

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

Lazaraton, A. 2014 "Second language speaking", M. Celce-Murcia, D. M. Brinton, M. A. Snow & D. Bohlke (Eds) *Teaching English as Second or Foreign Language, fourth edition*, p. 108.による。